

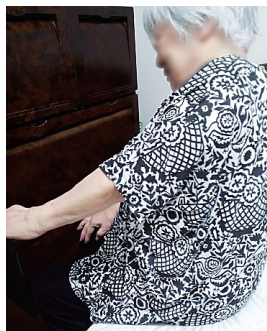
# 訪問リハビリテーション成果

## 対象者情報

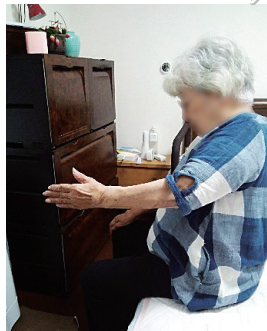
80代女性 介護：要支援2（令和2年4月まで要介護3）  
病名：左上腕骨近位端骨折術後

## 可動域の改善

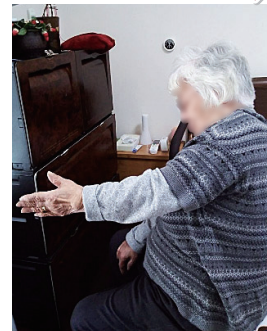
● 令和1年7月  
屈曲35度



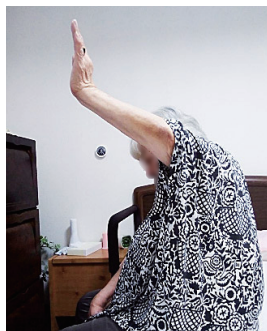
● 令和1年10月  
屈曲40度



● 令和2年2月  
屈曲55度



● 令和2年6月  
他動運動後挙上位保持  
屈曲120度



自動運動  
屈曲90度



家事動作の改善



## 経過

退院時、室内にてトレー付き歩行器導入していたがすぐに返却。屋外歩行は公共交通機関を使用し、その際には「邪魔になる」と歩行器を使用せず、ロフトランド杖歩行としている。夫の介護を行っていたが、R2.4より夫入院。現在、長女と二人暮らし。日中は自身の簡単な調理程度は行っている。R2.4認定調査結果により要介護度が介護3から要支援2に変更となり、訪問によるリハビリ実施が週3回から週1回変更。自主トレの重要性を感じ始め、携帯電話機能の歩数計を利用して運動量の自己確認を進めている。

# FIM

動作		R1.7 FIM	R2.6 FIM	備考
運動項目	セルフケア	食事	7	7
		整容	7	7
		入浴・清拭	6	6
		更衣・上半身	7	7
		更衣・下半身	6	6
		トイレ動作	6	6
	排泄	排尿管理	7	7
		排便管理	7	7
	移乗	ベッド・椅子・車椅子	6	6
		移乗：トイレ	6	6
移乗：浴槽・シャワー		5	6	
移動	歩行・車椅子	6	6	屋外：ロフトランド杖、歩行器
	階 段	3	3	
認知項目	コミュニケーション	理 解	7	7
		表 出	7	7
	社会的認知	社会的交流	7	7
		問題解決	7	7
		記 憶	7	7
運動		79	80	
認知		35	35	
合計		114	115	

